

出題範囲:受け身(be動詞+過去分詞)+中1・中2の復習 (中3・1学期前半)	時間:45分	難易度:基礎
--	--------	--------

このテストのストーリー あなたが中1のときのALT、Ms. Green(グリーン先生)は、2年前にオーストラリアへ帰りました。5月のある日、先生から「この夏、日本に行きます!」というビデオメッセージが届きます。学校と町の「今」を英語のニュースレターにまとめて先生に送る――すべての問題が「先生に近況を届ける英語」です。(物語は期末テスト=再会に続きます)

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1 リスニング グリーン先生のビデオメッセージと、ニュースレター相談の対話を聞いて答えよう。

知技・思判表

/20点

場面 2年前に帰国したALTのグリーン先生から、クラスにビデオメッセージが届きました(Part A)。放課後、あなたはKentaと、先生に送るニュースレターの相談をしています(Part B)。メモを取りながら聞きましょう。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A グリーン先生からのビデオメッセージを聞いて、「先生メモ」の空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

2年前にしていたこと	(①)	今住んでいる都市	(②)
この夏の予定	(③)	送ってほしいもの	(④)

⑤ メッセージの最後の「先生からの質問」に、英語で答えよう。(3点)

書き出し:My favorite place is _____.

Part B 放課後、あなたとKentaがニュースレターの相談をしています。2人の対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) 新しい図書館が建てられたのはいつですか。日本語で。	()
(2) 合唱コンクールが開かれるのはいつですか。 ア 6月9日 イ 6月19日 ウ 7月19日	()
(3) グリーン先生が2年前にしてくれたことは何ですか。 ア 合唱コンクールの歌を教えてくれた イ 図書館に本を寄贈してくれた ウ 体育祭の写真をとってくれた	()
(4) この対話のあと、2人が放課後にしそうなことはどれですか。(3点) ア 図書館へ行って写真をとる イ 音楽室で歌の練習をする ウ 先生に電話をかける	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

／20点

場面 グリーン先生が学級のチャットにゲスト参加しました。ニュースレターのお礼と、近況の話です。

Ms. Green: Hi, everyone! Do you remember me?
You: Of course! Your English class(①)loved by everyone.
Ms. Green: Thanks for the newsletter! It was (②) in English.
You: The photos were (③) by Kenta.
Ms. Green: Is the old gym still (④) for club activities?
You: Yes, it(⑤)! And a new library was built last year.
Ms. Green: Wow! My sister (⑥) me in Sydney last month.
You: Nice! Our town is (⑦) for its summer festival.
Ms. Green: I remember it!(⑧)it held in July? I want to go!

語群(1回ずつ・各2点):written / taken / was / used / Is / visited / known / is / lives / has

つづけて、英語係ノートのあなたのメモ(各2点):Ms. Green (⑨) in Sydney now. / She (⑩) a dog named Milo.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り グリーン先生とのビデオ通話。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

／10点

場面 ニュースレターを送る前に、先生と短いビデオ通話をしました。画面ごしのやり取りです。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 写真を先生に見せて「これは体育祭で撮られた写真です」と伝えるなら？ ア I take it now. イ It was taken at the sports day. ウ This is my camera.	()
(2) 新しくなった教室を「今はイングリッシュ・ルームと呼ばれています」と紹介するなら？ ア We called it one time. イ This room calls us. ウ It is called the English Room.	()
(3) 通話のとちゅうで先生の画面が見えなくなりました。状況を伝えて確認するなら？ ア Sorry, I can't see you. Can you see me? イ I won't see you. ウ I'm busy, bye.	()
(4) 先生が「ニュースレターは家族にも読まれたよ!」と喜んでいます。うれしさを返すなら？ ア Who read it? Stop, please. イ I read your book. ウ We're happy to hear that!	()
(5) 通話の終わりに「7月に会えるのを楽しみにしています」と伝えるなら？ ア I'm looking forward to seeing you in July. イ I saw you before. ウ Hurry up.	()

1学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問4 資料の読み取り 祭りのポスターと図書館のお知らせを読んで、先生の滞在プランを考えよう。

知技・思判表

／20点

場面 ニュースレターにのせる「町の情報」の英語資料が2枚あります。先生からは希望のメッセージが届いています。

AOBA SUMMER FESTIVAL	NEW TOWN LIBRARY
Date: July 25 (Sat), 4:00–8:30 p.m. Place: Riverside Park Fireworks start at 8:00 p.m.! Food stands, dance shows, and games. The festival is held every summer.	Opened last March! Hours: 9:00 a.m.–8:00 p.m. (closed on Mondays) English Book Corner on the 2nd floor. Books can be borrowed for two weeks. A story-reading event is held every Saturday.

グリーン先生のメッセージ "I will arrive in Japan on July 20. I want to see something new in your town. And you know me — my favorite thing is fireworks!"

(1) 2枚の資料から読み取ろう。(各2点) ① 夏祭りの日にちは7月何日?	7月() 日	② 花火が始まる時こくは? (:) p.m.
③ 図書館が閉まっている曜日は?	(曜 日)	④ 本を借りられる期間は? ()週 間

(2) 「町の新しいものが見たい」という先生の希望に合うのはどちら?(記号2点) A 夏祭り B 新しい図書館	()
そう考えた理由に合うものは?(3点) ア 図書館は去年の3月にオープンしたばかりで「新しいもの」だから イ 図書館は月曜日が休みだから ウ 先生は本を書いているから	()
(3) 「花火が大好き」という先生に、祭りをすすめる理由に合うものは?(3点) ア 先生は7月20日に日本に着くので、25日の祭りで8時からの花火が見られる イ 祭りは毎年開かれるので、来年でもよい	()
(4) 先生に伝えるひとこととして合う英語は?(4点) ア The library is closed on Mondays, so don't come to Japan. イ You can see fireworks at the summer festival on July 25! ウ I like food stands.	()

1学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問5 読解 1学期前半に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表

／20点

場面 先生に「今はどんな文章を読んでいるの?」と聞かれました。内容を思い出しながら読み直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、1学期前半に学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 下線部について、理由や筆者の気持ちとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなた自身のことを英語で書こう(3点) 書き出し:Our town is known for _____. / _____ is loved by many people.	

大問6 ライティング ニュースレターのあなたの記事を書こう。テーマは「学校・町のいまニュース」。 知技・思判表

／10点

場面 グリーン先生に送る英語ニュースレターの、あなたの担当記事を書きます。テーマは「学校・町のいまニュース」。2年ぶりの先生に、新しいこと・じまんでできることを届けましょう。

条件 ①学校か町の「新しいこと・じまんでできること」を1つ ②それが「どう使われているか・どう親しまれているか」を1つ
書き出しヒント:A new _____ was built last year. / It is used for _____. / Our _____ is loved by _____.

3文以上。先生が「早く見に行きたい!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、先生に伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字(文頭・I・名前) ☐ 文末のピリオド／? ☐ 受け身の形(be動詞＋過去分詞・「～によって」はby) ☐ 読む相手(先生)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 51点／思考・判断・表現 49点(中3は入試も見すえ、中2からさらに思判表へ。学年進行の設計は使い方ガイド参照)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	帰国を知らせるALTのビデオメッセージと、ニュースレター相談の対話を聞き、メモの整理と行動の予測をする	必要な情報の聞き取り(知技)／状況からの判断・聞いて自分のことを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	ALTとの再会前チャット・メモが成り立つように語形を判断する	文脈の中で 受け身(be動詞＋過去分詞・疑問)を正しく使う＋中1・中2の復習(現在完了は範囲外＝期末で扱う)	知技	20(2点×10)
大問3	ビデオ通話の場面(写真の紹介・教室の紹介・機器トラブル・喜びへの反応・別れ)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	夏祭りのポスターと図書館のお知らせを読み、ALTの希望と到着日に合うプランを選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×5・3点×2・4点×1)
大問5	教科書本文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→推論→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／本文をふまえて表現する(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	ALTへ送るニュースレターの記事(学校・町の今)を書く	条件に沿って、読み手を意識して学校・町の様子を書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(グリーン先生からのビデオメッセージ)
Hello, everyone! This is Ms. Green. Do you remember me? I taught English at your school two years ago. (3sec)
Now I live in Sydney, and I teach English at a high school. (3sec)
Big news! I will visit Japan this summer. I want to see you all! (3sec)
Before my visit, please send me some school news. Is the old gym still used for club activities? I want to know! (3sec)
And here is my question for you. What is your favorite place at school? Tell me about it! Bye! (3sec)

Part B(放課後、あなたとKentaの相談)
Kenta: What should we put in the newsletter for Ms. Green? (2sec)
You: How about the new library? It was built last year. (2sec)
Kenta: Good idea! She loves books. Do you have a photo? (2sec)
You: Yes. This photo was taken last week. Look! (2sec)
Kenta: Nice! Let's write about the chorus contest, too. (2sec)
You: The contest is held in June, right? (2sec)
Kenta: Yes, on June 19. Ms. Green taught us a song for it two years ago. (3sec)
You: I remember! OK, after school, let's go to the library and take some new photos. (2sec)
Kenta: Sure!

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①英語を教えていた ②シドニー ③日本に来る ④学校のニュース ⑤例:My favorite place is the library.(内容自由。発展は It is used by many students. など説明の2文目で満点) B:(1) 去年 (2) イ (3) ア (4) ア
大問2	① was ② written ③ taken ④ used ⑤ is ⑥ visited ⑦ known ⑧ Is ⑨ lives ⑩ has ※②③④⑦は受け身の過去分詞、⑤⑧はbe動詞(応答・疑問)。⑥は過去形、⑨⑩は三単現の維持。許容解は採点前にそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) イ (2) ウ (3) ア (4) ウ (5) ア / 発展版(4問):(1) イ (2) ウ (3) ウ (4) ア
大問4	(1) ①25日 ②8:00 p.m. ③月曜日 ④2週間 (2) B / 理由:「町の新しいもの」が見たい+図書館は去年3月オープン(両方への言及で満点、片方は部分点2点) (3) 先生は7月20日着なので、25日の夏祭りで8時からの花火が見られる(発展は図書館+祭りの両立プランで満点) (4) 例: You can see fireworks at the summer festival on July 25!(資料の情報を使った1文なら可。英文=2+情報=2)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は要旨とずれる同話題タイトルを2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語を下線に。問4は手がかり語を決めて採点。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	2年ぶりの先生に学校・町の今を知らせる目的に応じて、条件(新しいこと・使われ方など)を含む記事を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(先生)が見に行きたくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」は点数化せず思判表と一体的に見る(国研の立場)。・言語材料は指定しない(「どう使われているか」の内容条件が受け身を促す)。・is love 型(過去分詞の抜け)は試みとして部分評価。能動態でも伝われば減点しない。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Ms. Green を自校のALTに、Kenta をなじむ名前に、祭り・図書館を地域の実物に(問いの型は変えない)。
範囲の調整	現在完了は本版に出ない(期末版で初登場)。受け身が未習なら大問2の②③④⑦を過去形・現在形の空所に、現在完了が既習の教科書(NEW CROWN等)なら②③を経験の文に差し替え可。
大問5の本文	1学期前半の本文・説明文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1+ずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回)。目安:リスニング10分・大問2～5は25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと観点別の集計が簡単。中3は入試も見すえ、思判表をほぼ半々に。